

災害への備えは大丈夫ですか？

西日本を中心に発生した豪雨災害は、死者160人（7月11日現在）という大災害になっています。自然災害は、いつ発生してもおかしくないということを忘れずに、日頃から備えておくことが大切です。

今回の「西日本豪雨災害」を踏まえて、根室市の防災担当者にいろいろとお話を伺ってきました。

今回の災害クラススの豪雨が根室で発生したら？

一番気になるのは、やはり、西日本を中心に降り続いた記録的な豪雨が根室で降った場合にどうなるのか、ということですね。根室でも、かつて、ゲリラ豪雨や高潮などと相まって、緑町などの中心市街地で浸水被害が発生しています。 「緑町などの、低い地域の浸水が予想されます」（市の担当者）。高潮被害を経験して、ポンプ場の改良などが行われましたが、「西日本クラス」の豪雨が発生すれば、低地の浸水被害は予想されるということです。

なお、根室の市街地には大きな河川がないので、河川の氾濫による洪水については心配ないとのこと。西浜町を流れるハツタリ川は、高潮などによる浸水被害が過去にも発生しましたが、降雨で氾濫することはないとのお話でした。

「豪雨で心配なのは、がけ崩れです」（市の担当者）。市内には急傾斜地が少なくありません。大雨警報等が発生した場合、市の担当者が急傾斜地のパトロールを行います。 「がけ崩れ」の兆候が目に見える形で現れれば別ですが、なかなか分かりにくいというのが実態のようです。

急傾斜地の近くにお住いのみなさんは、「音」に思い（土砂崩れの前に異音が発生するケースがあるとのこと）など、普段と違う状況があれば、ただちに安全な場所へ避難した方がよいでしょう。

台風への備えは？

これから台風シーズンを迎えます。かつて、北海道は、台風が北上してきても、到達する前に温帯または熱帯低気圧に変わるケースがほとんどでした。しかし、最近では、台風のまま、しかも勢力を拡大して北海道に上陸する場合があります。

市の担当者は、「情報を取りに行く」という表現で、情報に気を付けることの重要性を強調されています。地震と違って、台風は、その勢力、進路、到達時刻など、かなりの精度で予測されています。

私たちは、それらの情報を確実につかみ、早めの対応を行うことが重要です。いまはスマートフォンなど、インターネットが身近になっていて、有効に活用しましょう。インターネット環境が身近にない方には、ご家族やご近所の方が情報を提供するようになりましょう。

巨大地震の発生の確率が上がったが…

根室地域で、今後30年以内に巨大地震が発生する確率が65%から78%に上がりました。大切なのは、「巨大地震はいつ発生してもおかし

くない」ということを、日頃から意識しておくこと

です。家具の固定（特に寝室において）をしつかりとしておくこと、緊急避難グッズの用意、家族の連絡方法などをあらかじめ決めておきましょう。

豪雨災害の救援募金 受け付けています

日本共産党中央委員会

西日本を中心とした記録的豪雨により、各地で土砂崩れや河川の増水・氾濫が相次ぎ、多数の死者、安否不明者をはじめ膨大な被害が発生しています。また、今後も被害の拡大が予想されます。

日本共産党は、被災者救援のための募金を受け付けています。日本共産党がお預かりした募金は、日本共産党の政治活動のための資金とは区別し、その全額を被災者の救援にあてていくものです。募金は、下記の郵便振替口座に送金してください。

▼口座番号 00170—9—140321

▼加入者氏名 日本共産党災害募金係

※通信欄に「豪雨災害救援募金」と記してください。手数料はご負担願います。

※党議員や集金担当者など、身近な日本共産党員に直接渡していただいてもかまいません。責任をもって送金いたします。